

## 令和 2 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要（大島）

## 1. 集落協定の概要

都道府県名：大分県

市町村名：佐伯市

島名：大島

協定締結集落名：大島漁業集落

交付金額：4,348千円

(1) 基本交付金：4,348千円

(2) 新規就業者特別対策交付金：0千円

協定参加世帯数：29世帯、48人（うち漁業世帯29世帯、48人）

都道府県の都市部の勤労者世帯の有業者一人当りの平均勤め先収入(直近3年平均) 3,588,695円

集落の平均漁業者所得 483,712円（令和元年）

## 2. 協定締結の経緯

佐伯市大島周辺の海域は、典型的なりアス式海岸であり多数の天然礁を有する佐伯湾、天然礁回遊魚の漁場を多く有する豊後水道に面しており、良好な自然環境に恵まれている。地元漁業者は主に一本釣漁業を営んでおり、マダイ、イサキ、ブリ類を主な魚種として漁獲している。大島周辺の浅場は、水産資源の幼稚仔の育成場としても重要な役目を担っている。これまで、地元漁業者がこれらの海域環境を適切に管理することにより、これを保全するとともに周辺水域の有効利用を図ってきた。

しかしながら、漁業が基幹産業である佐伯市大島地区においても、漁業者の減少や高齢化が進んでおり、このまま放置すれば、大島地区の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も低下する可能性がある。

このため、大島地区は、漁業の基盤となる漁場の保全や利用に関する集落での話し合いを通じて集落機能を再編し、必要な場合には既存の慣行を見直し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入等に取り組める環境を整えるとともに、漁場環境の保全活動を継続的に実施する必要があることから、その取組の継続を下支えするために離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取組むこととした。

### 3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

○種苗放流により資源の維持、増大を図った。

活動内容	放流数	平均サイズ (mm)	経費 (円)
種苗放流			
イサキ	50,000尾	67.6	1,780,000
		計	1,780,000

○有害動植物の駆除により漁場の維持管理に努めた。

活動内容	実施日	数量	経費 (円)
漁場の維持・管理			
サメ駆除	9月25日	参加人数 18人 参加漁船数 14隻	460,000
サメ駆除用 電気 ショッカー 導入	11月18日、3月30日	2台	1,417,636
		計	460,000

○貝殻魚礁の設置により産卵場・育成場の整備を図った。

活動内容	実施日	数量	経費 (円)
産卵場・育成場の整備			
魚礁等の設置	3月25日	8基	307,400
		計	307,400

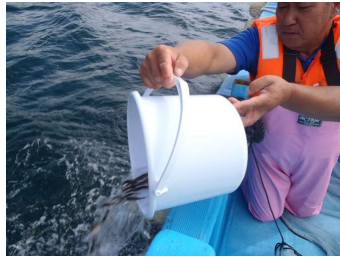
②漁業の再生に関する実践的な取組状況

活動内容	実施日	数量	経費 (円)
高付加価値化			
出荷調整生け簀の改修	3月25日	-	313,025
		計	313,025

#### 4. 取組の成果

##### ①種苗放流

一本釣り漁業の主な漁獲対象種であるイサキ種苗を放流することにより、数年後の水揚げ金額の増大及び水産資源回復に期待をしている。



イサキ種苗放流 (R2. 9. 29)

##### ②漁場の維持・管理

有害動植物（サメ）は大島の主要漁業である一本釣り漁業の漁獲対象であるイサキ等の食害被害を引き起こしている。そこでサメ駆除を行い、漁場の維持・管理に努めた。



サメ駆除 (R2. 9. 25)



電気ショッカーの導入 (R3. 3. 30)

##### ③産卵場・育成場の整備

貝殻漁礁を設置することにより、資源増大、藻場造成、磯根資源の増産に期待をしている。



貝殻漁礁の設置 (R3. 3. 25)

##### ④漁業の再生に関する実践的な取組状況

出荷調整生簀を使用することにより、魚価の安定的化を図ることで、所得の向上を目指した。



出荷調整生け簀の改修 (R3. 3. 25)